



# 株主通信 第15期 中間期

平成25年10月1日から平成26年3月31日まで

東亜バルブエンジニアリング株式会社

## 株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第15期中間期の株主通信をお届けするにあたりひとことご挨拶を申し上げます。

当中間期の業績は、売上高が30億円を割り込み、多額の損失を計上いたしました。株主の皆様にご心配をおかけしましたこと、また、当中間期の配当につきましても前年同期に見送りとさせていただきますこと、心よりお詫びを申し上げます。

原発関連売上を主力マーケットとしております当社にとって、現在の原発が再稼働しない現状は如何ともし難く、引き続き、火力発電所向け製品・サービスの販売拡大を、全社を挙げて推進しておりますが、原発からの電力供給が無い状況では火力発電所も容易に運転を停止することができず、そのことでなかなか新たな受注を得ることができないという悪循環が続いております。

しかし、ここにきてようやく、九州地区で原発再稼働の環境が整いつつあることから、当社においても再稼働が順調に進むよう、再稼働前のバルブ点検などを通じ、この実現に向け全力で取り組んでいるところです。

ただ、原発が再稼働してもすぐに業績改善につながるわけではなく、

一定期間の営業運転を経過した後の定期検査業務からとなります。従いまして、当面はフル稼働を続けてきた火力発電所のメンテナンス需要をしっかりと掴み、業績の改善に努めてまいります。

原発は九州地区を皮切りに順次再稼働していくものと想定しておりますが、到底、事故以前のマーケット規模が復活するとは考えにくいことから、抜本的なビジネスモデルの転換にも取り組んでまいります。とはいえ、その前提として将来の原発マーケットの規模を正確に掴まないことには、経営資源の最適化を進めることは難しく、今しばらくは社内基盤を維持しながら、短・中期的に新規マーケット開発を進め、株主の皆様のご期待にしっかりと応え得るような、企業改革・経営改革に取り組んでまいります所存です。

株主の皆様におかれましては何卒、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月

代表取締役社長

唐澤 格一

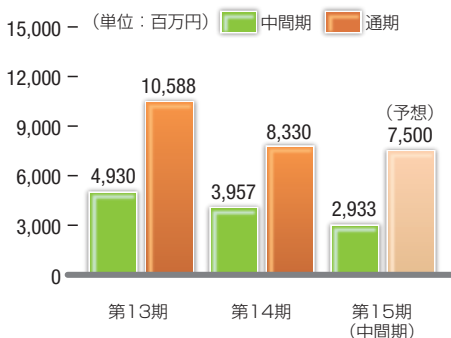


## 財務ハイライト (連結)

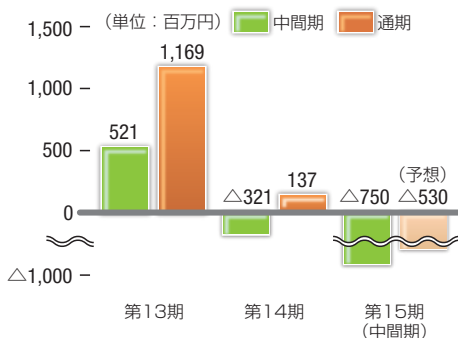
平成26年5月発表 業績予想数値

売上高 **29億33** 百万円

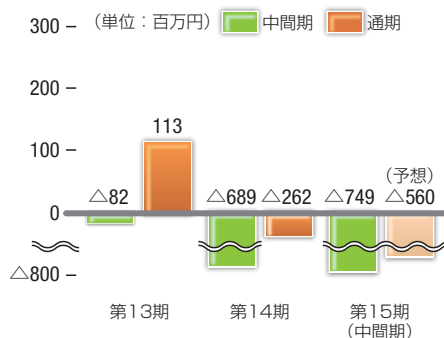
(前年同期比25.9%減)



経常利益 **△7億50** 百万円



中間(当期)純利益 **△7億49** 百万円



詳細な財務情報は、当社ホームページをご覧ください ▶▶▶  
<http://www.toavalve.co.jp/>

## メンテナンス本部 技術伝承に取り組んでおります。

当社のバルブは原子力発電所をはじめとする国内外の発電設備に納入されております。

このような発電設備では定期的な点検が行われておりバルブもその例外ではありません。

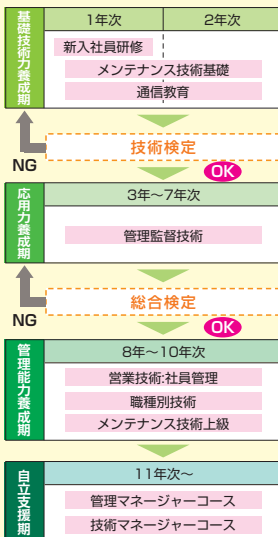
当社でも納入された自社製品や外国製を含む他社製品のバルブメンテナンスを行っておりますが、そのメンテナンス技術は一朝一夕には習得できるものではなく、当社バルブの設計思想や品質管理方針に裏打ちされたメーカーメンテナンスを絶えることなく、後進へ伝承することで成り立っております。

特に原子力発電所のメンテナンスで要求される技能や作業品質は非常に厳しいものでありますので、当社のバルブメンテナンスに関わる者は、自己研鑽はもちろんのこと、入社以来、バルブ講習をはじめとする多くの教育や現場での訓練や経験を経て、現場を任される社員へと成長していきます。

今日、当社の主要な顧客である原子力発電所の再稼働が不透明なか、それに続く定期点検工事の時期も不確実であります。当社メンテナンス技術をより高度にするとともに、現地での作業品質を向上し、顧客の確かな信頼を得ていくために、「メンテナンス本部技術伝承方針」を定め、技術伝承教育プログラムにより社員の育成に取り組んでおります。



### 技術伝承教育プログラム



## NEWS ニュース

### 新入社員も森づくり活動に参加

当社では、国土交通省近畿整備局六甲砂防事務所が行う「六甲山系グリーンベルト整備事業」へ平成20年から参加し森づくり活動を継続して行っています。この活動は、市街地に近い六甲山地の斜面を樹林帯として守り育て、地滑り防止等の防災機能の強化と自然豊かな生活環境を確保することを目的としています。本年4月の活動には、新入社員も社会貢献活動の研修として体験してもらいました。今後も地域社会の防災・環境のため森づくり活動を継続していきたいと考えています。



### 東京支社、若狭事業所をリニューアル

業務の効率化、費用削減効果、機動性の向上を図るため、東京支社を本年3月24日より、また、若狭支社においては名称を若狭事業所に改め、本年5月1日よりそれぞれ新天地に移転して業務を開始しております。これを機に更なる事業活動を展開してまいります。

▼ 東京支社



▼ 若狭事業所



#### 会社の概況 (平成26年3月31日現在)

商号	東亜バルブエンジニアリング株式会社
英文	Toa Valve Engineering Inc.
証券コード	6466
所在地	〒660-0054 兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号 電話 06-6416-1184
設立日	平成12年3月16日
資本金	17億3,955万9,810円
事業内容	各種バルブ、鋳鋼製品の製造販売及び各種バルブのメンテナンス業務
従業員	335名 (連結361名)

#### 株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
期末配当金	9月30日
受領株主確定日	3月31日
中間配当金	毎年12月
受領株主確定日	
定時株主総会	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社）にお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店におきましてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店でお支払いいたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部  
 公告の方法 電子公告により行います。  
 公告掲載URL <http://www.toavalve.co.jp/>  
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)